

心臓病防げ健康手帳作成

循環器専門の医療施設

豊橋ハートセンター(豊橋市大山町)の患者らでつくる「ハートええじゃないか友の会」が、心臓病を予防しようと、二〇〇八年版の健康手帳を作成した。会長は「ぼくら

豊橋

の七日間戦争」などで知られる作家の宗田理さん(七〇)＝名古屋市中東区。「より良い医療を受けるため、手帳を活用して賢い患者になろう」と呼び掛けている。

(目下部弘太)

宗田理さん会長「友の会」



宗田理さん

宗田さんは二年前、肩こりを感じて受診したところ狭心症が判明し、手術で心臓の周りの冠状動脈にステント(血管を広げる金具)を入れた。その後、月一回ほど通院し

てきたが「患者はただ来て帰るだけ」。友の会の必要性を感じていた。今夏、鈴木孝彦院長(六〇)が設立を持ち掛けるとすぐに応じ、会長を引き受け

「活用して賢い患者に」

友の会は、患者同士や患者と病院の交流を図ることを目的に会報を発行し、講演会、会員用サロ

友の会は、患者同士や患者と病院の交流を図ることを目的に会報を発行し、講演会、会員用サロ

友の会は、患者同士や患者と病院の交流を図ることを目的に会報を発行し、講演会、会員用サロ

「ハートトレ」も盛り込まれ、「有酸素運動を週三回以上行う」「脱衣所やトイレは暖めておく」などアドバイスしている。

宗田さんは「全部医者任せではない。自ら体調を把握し、手帳を病院に持って行けば、医師も診察しやすい」と強調する。手帳は会員に無料で配布。友の会には他の病院に通う人や、病気がなくても心臓が気になっている人も入れる。年会費千円。問い合わせは、友の会事務局☎053

作家の宗田理さんが会長を務める「ハートええじゃないか友の会」が発行した健康手帳



2(37)8910へ。

なども開いている。会員数は現在約三百人。「潜在患者を含めると高齢者の三―四割は、心臓が突然死する危険を抱えているはず。会の活動を通じて、心臓の健康を保つ心掛けや、病院を超えた社会運動にしたい」と宗田さんは意気軒高だ。

健康手帳は病気の予防を図り、医師とのコミュニケーションに役立つ。健康手帳は病気の予防を図り、医師とのコミュニケーションに役立つ。